

大津板紙株式会社

2024年度 環境報告書

<大津板紙会社概要>

名 称:大津板紙株式会社
住 所:大津市馬場1丁目15-15
代表者:熊本 吉喜
創 立:1955年4月
従業員:113名
事業内容:段ボール原紙・その他加工原紙の製造販売

2025年7月

大津板紙株式会社

1. 大王製紙グループ経営理念

～世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ～

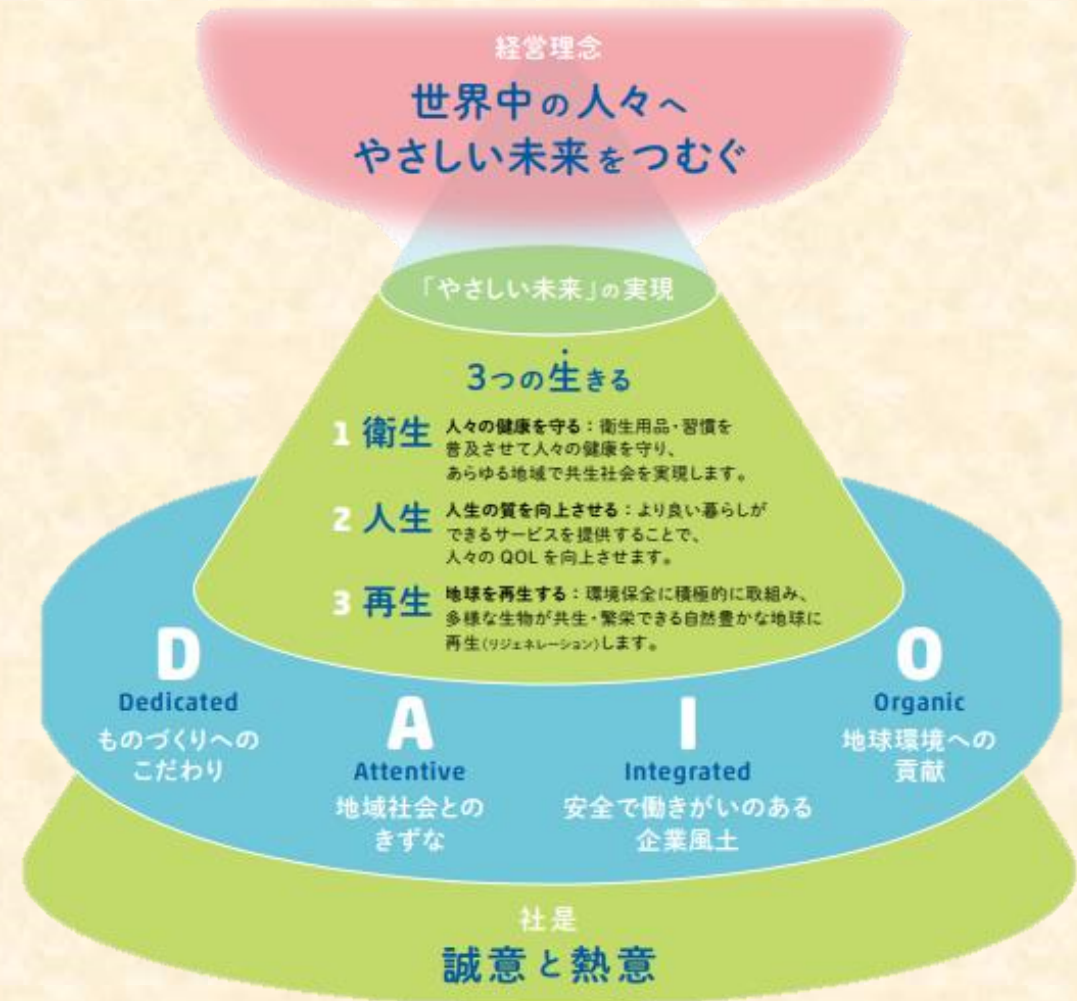


大津板紙は大王グループの一員として「誠意と熱意」をもって、「3つの生きる」を成し遂げ、「やさしい未来」を実現します。

これが私たちの存在意義です。

3つの生きるとは、

- 1 衛生 人々の健康を守る
- 2 人生 人生の質を向上させる
- 3 再生 地球を再生する



大王製紙グループの経営理念イメージ図

～循環にやさしい紙作りで 地域社会に貢献します～

太陽光発電
システム導入

高度排水処理
システム構築

古紙再利用による
板紙の生産

(ごあいさつ)

- 世界的に資源や環境の保護が叫ばれている中、ほぼ全ての原料を一度使用された段ボールや雑誌などの古紙を再利用して板紙を生産することで、資源の保護に努めています。

また、環境保護への取組として大いなる湖「琵琶湖」の水質保全に貢献するため高度な排水処理システムを構築し、1日2万tの水をクリーンな状態にして、琵琶湖に返しています。

- 資源や環境保護のシンボルとして石山物流センターにソーラパネルを設置し年間300,000kWhを発電、年間150tのCO₂を削減しています。

- あらゆる面から資源をリサイクルし、環境を守っていくことこそが地域社会に貢献することであると考えています。そして大津板紙は、多くの人々が求める企業像を確立しながら、未来に向かって着実に事業活動を推進してまいります。

2. 古紙100%(再生紙)利用の想い



～処分しにくい機密書類も安全確実にリサイクル～

- 捨てればゴミ、燃やせばCO₂を排出する家庭・オフィスからの紙。この古紙を100%原料とし、段ボール原紙を作っています。
- 近隣の自治体・官公庁からの機密古紙の回収も積極的に行っており、滋賀県内だけでなく、近隣府県からも利用されています。
- 多くの機密古紙処理の期待に対応すべく、以前は製紙原料にならなかった古紙も製紙原料として使えるよう努力しています。
- プラスチックなど紙に再生できなかった物は、ボイラー燃料やセメント原料になるように進めています。
- 「安価に紙ゴミを処分したい近隣・地域の想い」「受け取って出来るだけゴミを出さずに処理したい当社の想い」を感じ、日々技術を磨いています。

機密古紙 年間4,520tを原料として再生しています。

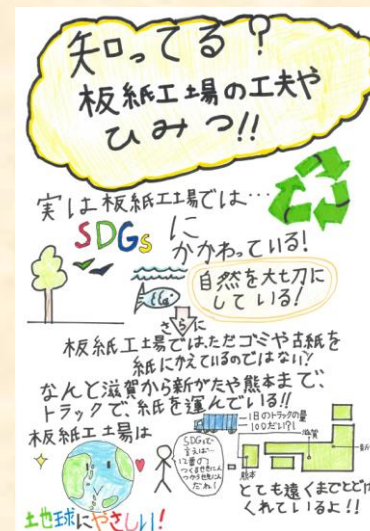
3.地域との共生

① 近隣小学校の工場見学の実施

近隣の小学校の工場見学を積極的・継続的に行うことで、学校では学べない「モノ作り」の現場で学んでもらっています。



平野小学校での工場見学前説明会



滋賀大学教育学部附属小学校の生徒が
描いたポスター



② 琵琶湖清掃活動

2025/7/1おもてなし一斉清掃(大津地区)
に参加し、琵琶湖の環境改善に協力しました。



③ 地域との交流

近隣3自治会3役と地域学区連合会長の
工場見学と意見交換会を行い、地域の課題
解決に努めています。



④ 工場周辺と近隣の清掃活動

工場周辺の市道清掃を毎朝行っています。



⑤ 機密古紙受け入れ

気軽に機密古紙を持って来て頂けるよう工場の外で受け入れられるようにしています。

工場西壁防音パネル1.0M嵩上げ



古紙ヤード東壁 飛散防止ネット設置

⑥ ブロック壁の耐震工事が完成しました。

⑦ 古紙の飛散防止と騒音対策を行ってます。

⑧ 通学時間帯・夜間の入出門禁止時間の設定

通勤通学の安全確保や夜間帯の大型車輛の騒音対策等、地域に配慮しています。



交通規制、交通マナー(運転手教育)

自動車事故対策機構による「安全講習会」

滋賀県警察による「安全講習会」

自動車事故対策機構による「適正検査」



4.数値で見る環境への取組み

～最新ガスタービンコージェネレーションへの更新～

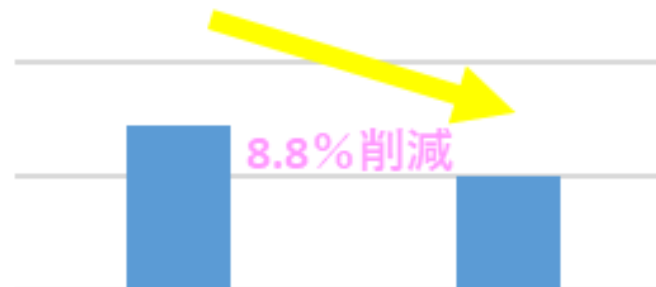
- 2019年、最新のガスタービンコージェネレーション設備更新によってエネルギー消費量を原油換算で4.2%削減、二酸化炭素排出量(CO₂)8.8%削減
- 硫黄酸化物(SO_x)排出量はゼロ、窒素酸化物(NO_x)排出量は12ppm(規制基準70ppm)

(数値は何れも当社調べ)

年間エネルギー



CO₂排出量



窒素酸化物(NO_x)



～環境監視項目の自主規制～

・水質

監視項目	自主基準値
水素イオン濃度:pH	6.5～7.5
生物化学的酸素要求量:BOD	14mg/ℓ以下
化学的酸素要求量:COD	18mg/ℓ以下
浮遊物質量:SS	35mg/ℓ以下
窒素含有量	6mg/ℓ以下
リン含有量	0.6mg/ℓ以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	5mg/ℓ以下
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	20mg/ℓ以下
フェノール類含有量	1mg/ℓ以下
銅含有量	1mg/ℓ以下
亜鉛含有量	1mg/ℓ以下
溶解性鉄含有量	10mg/ℓ以下
溶解性マンガン含有量	10mg/ℓ以下
クロム含有量	0.1mg/ℓ以下
大腸菌群数	3,000個/㎖以下
アンチモン含有量	0.05mg/ℓ以下

・大気

監視項目	自主基準値
窒素酸化物	70ppm以下
煤塵濃度	0.05g/Nm ³ 以下

・振動

監視項目	自主基準値
昼間	60db以下
夜間	55db以下

・騒音

監視項目	自主基準値
朝・昼・夕・夜間	経済産業省認可値以下

・悪臭

監視項目	自主基準値
敷地境界線上	臭気指数 12以下
排水	臭気指数 28以下

～4段階の排水処理でキレイな水を琵琶湖へ～

工程排水

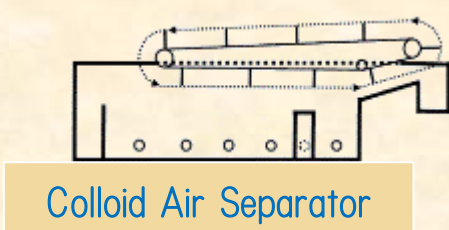
1次処理水

2次処理水

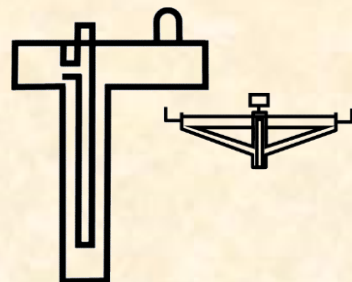
3次処理水

4次処理水

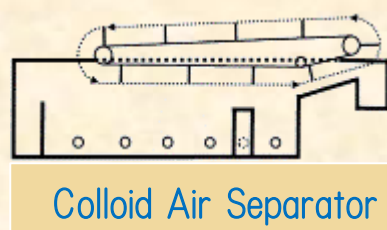
琵琶湖



Colloid Air Separator



Deep-Shaft



Colloid Air Separator



ACTIFLO-Carb

2024年稼働し、排水処理強化

5.大王グループ+大津板紙 環境保全の取組み



2024年11月15日
大王製紙株式会社
Sustainability委員 環境小委員会
事務局：環境管理部 安全環境課

2025 年 大王グループ環境保全活動方針

「行動規範」

- ・大王グループは地球環境と調和した事業活動を通じた環境問題への積極的な取り組みを目指す「DAIO 地球環境憲章」、及び過去から取り組んできた社会課題の解決と世界共通目標であるSDGsを運動させた大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する。
- ・大王グループは関係法令等の遵守はもとより、各国・地域の文化・慣習に配慮した事業活動、地域に根差した社会貢献活動や、衛生環境の向上を含む社会課題の解決に取り組むことにより、地域社会との共生を図る。

1. 活動方針

1) 環境の3本柱に継続して取り組みます【環境保全コンプライアンス】

- (1)環境保全活動に対する社員の「意識と知識」の向上
- (2)異常の兆候をとらえ、正常に運転できる「操業方法」の確立
- (3)機能を正常に発揮できる「設備」の保守・改善

2) 地球の再生に貢献します【環境保全 SDGs】

大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」3つの生きる（衛生・人生・再生）のうち、地球を再生するに貢献するため、気候変動への対応、循環型社会の実現、森林保全と生物多様性の維持に取り組む。「DAIO 地球環境憲章」の7つの基本方針に基づき、社員一人ひとりが環境問題に配慮した生産活動を行う。

DAIO やさしい未来 2030



2. 重点取り組み項目

1) 環境保全コンプライアンス

目標：環境事故ゼロ、クレームゼロ

(1) 環境法令遵守

- ・①KP臭気回収、脱臭による協定値超過対策、②節水、雨水分離による放流量水量届出値超過対策、③除害設備の性能を維持し、ばい煙濃度、放流水水質の届出値超過予防。
 - ・埋設配管やコンクリート劣化による漏洩事故防止。（劣化場所の更新・改修計画を遂行）
 - ・法令自主点検（年5回）による法令違反の未然防止と、過去に決めた再発防止対策の点検。
 - ・悪いこと、非常事態発生時、速やかに経営トップや関係者に報告し経営リスクを最小限に止める。
- (2) 地域社会との共生
- ・地域住民との対話を定期的に行い、住民意見を反映させた工場運営を行う。
 - ・臭気(KP臭、排水タンク臭、印刷有機溶剤臭)、騒音(蒸気音、真空装置排気音、機械異常音)、粉じん飛散(チリダスト、ばいじん、紙粉)等の住民苦情を受ける前に気づく、連続測定機でのモニタリング体制確立。
 - ・緊急事態(漏洩、爆発、火災)発生時に速やかに処置。同時に地域住民、行政へ情報提供する訓練。
 - ・地域美化活動や環境改善活動に参画し地域社会との共生を図る。

2) 環境保全 SDGs

目標：(1)省エネルギーの推進

・全エネルギー原単位 対前年度比 1.0%削減

(2)再資源化の推進

・産廃再利用率 99.0%以上

(3)プラスチック産廃の削減

・2020年度比 32%減

家庭紙包装材 排出原単位削減

・廃プラ サーマルリサイクル率 96.2%以上

古紙給の有効利用

・用水原単位(売上げ高当たり) 2019年度比 6%削減

(4)用水原単位の削減

DAIO地球環境憲章

理念

大王製紙グループは地球環境と調和したグローバルな事業展開を通じて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

基本方針

1. 地球温暖化対策の推進

- ・温室効果ガス排出量の削減(化石燃料からの燃料転換、省エネルギー等)
- ・環境負荷低減や、自然災害に適合する施設・設備への見直し

2. 森林保全と生物多様性の維持

- ・森のリサイクル産物(植林によるCO₂吸収量の増大)
- ・絶滅危惧の恐れのある動植物の保護

3. 資源の有効活用と環境に配慮した資材調達

- ・紙のリサイクル産物(古紙利用促進・資源古紙利用拡大)
- ・CSR調達の実現

4. 廃棄物の低減と有効利用

- ・ゼロエミッションの実現
- ・廃棄物再利用促進

5. 環境負荷低減技術・商品の開発と展開

- ・水資源の適性管理、水利用の効率化
- ・環境配慮型商品の開発・展開

6. サプライチェーンを含めた環境負荷の低減

- ・ライフサイクルにおけるCO₂排出量の削減
- ・荷資材に使用する紙・プラスチック等の資源循環の推進

7. 法令遵守と積極的な環境コミュニケーション・地域社会との共生

- ・環境コンプライアンスに関する自主点検活動の推進・レベルアップ
- ・環境データの適切な開示と地域共生活動への積極的参加

2025 年大津板紙グループ環境活動方針

2025年1月20日
安全環境・品質管理室

「行動規範」

- ・大王グループは地球環境と調和した事業活動を通じた環境問題への積極的な取り組みを目指す「DAIO 地球環境憲章」、及び過去から取り組んできた社会課題の解決と世界共通目標であるSDGsを運動させた大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する。
- ・大王グループは関係法令等の遵守はもとより、各国・地域の文化・慣習に配慮した事業活動、地域に根差した社会貢献活動や、衛生環境の向上を含む社会課題の解決に取り組むことにより、地域社会との共生を図る。

1. 大王活動方針

1)環境の3本柱に継続して取り組みます【環境保全コンプライアンス】

- (1)環境保全活動に対する社員の「意識と知識」の向上
- (2)異常の兆候をとらえ、正常に運転できる「操業方法」の確立
- (3)機能を正常に発揮できる「設備」の保守・改善

2)地球の再生に貢献します【環境保全 SDGs】

大王グループ「サステナビリティ・ビジョン」3つの生きる（衛生・人生・再生）のうち、地球を再生するに貢献するため、気候変動への対応、循環型社会の実現、森林保全と生物多様性の維持に取り組む。「DAIO 地球環境憲章」の7つの基本方針に基づき、社員一人ひとりが環境問題に配慮した生産活動を行う。

DAIO やさしい未来 2030



2. 目標

項目	2024 年実績	2025 年目標
マシン	2M/C	93.9%
仕上げ効率	4M/C	93.0%
2-線・損紙率 (2024 年 1 月～2025 年 1 月)	863t/月	5%以下
エネルギー原単位(年平均)	0.158kL/t	0.155kL/以下
機密古紙使用量	4,433t/年	4,200t/年以上
発泡性古紙使用量	16,430t/年	15,600t/年以上
産業廃棄物量	2,020Bdt/年	1,795Bdt/年以下
放流水 COD(日間平均の最大)	18.9mg/L	8.0mg/L以下
環境事故	0	0
クレーム	0	0
問合せ・情報提供 適正対応	100%	100%



3. 重点活動

1)環境保全活動の取り組み 従業員一人一人が環境基準を先取

(1)工場運営に必要な環境関連資格の計画的な習得・・・法令・管理基準を遵守強化

(2)環境リスク抽出・対策で環境事故を未然防止

(3)製造工程最適化、排水処理設備の運用、用水原単位管理で、規制値(放流水日間平均 COD8mg/L以下)を厳守する。

2)住宅・学校に囲まれ環境事故・クレームが会社の存続に大きな影響を与えることを意識する。

(1)系内腐敗抑制と消臭剤設備改善でベンチレーター排気の臭気指数を抑え、ベンチレーター排気経路の改善計画を策定する。

(2)騒音発生源対策と防音を進め、工場敷地境界の騒音を低減する。

(3)車輦はルールを守りマナーの良く、地域環境に優しい安全で静かな運転をする。

大王製紙グループ環境保全活動方針

大津板紙 環境保全活動方針

写 環境マネジメントシステム
審査登録証 附属書

大王製紙グループISO14001審査登録証